

## 第 32 回 池田町行財政改革推進委員会 議事録

日時：令和 4 年 11 月 10 日

午後 1 時 30 分～4 時 30 分

Zoom によるオンライン会議

### 出席者（敬称略）

○委員 9 名：（名簿掲載順）

和澤忠志、宮嶋將晴、山沖義和、丸山史子、瀧澤洋子、村端浩、山崎正治、赤田伊佐雄、辻庄市

○事務局（総務課） 3 名：

宮澤達（総務課長）

塩原長（企画係長）

寺島靖城（財政係長）

（司会：宮澤達）

### 1. 開会（丸山副会長）

### 2. 会長あいさつ（山沖会長）

11 月 24 日に議会との意見交換会を予定しているので、今日はその事前打ち合わせとして、まず令和 3 年度の決算の概要を町から説明して頂く。次に、最終答申に向けて増収策について議論したい。また、時間をみてスケジュールについて相談させて頂きたいので、よろしくお願ひしたい。

### 3. 第 5 回第 4 総務部会の報告

#### 塩原係長

日時 11 月 7 日（月）午後 4 時～ Zoom によるオンライン会議

<記載事項の通り、内容について説明>

### 4. 協議

#### (1) 池田町議会との意見交換会について

#### 山沖会長

次第に記載されている通り、11 月 24 日（木）午後 1 時 30 分から議会との意見交換会を予定している。議長からの依頼文が届いているので、塩原係長からその説明を。

#### 塩原係長

11 月 24 日、次回委員会の前段の時間に 1 時間程度意見交換会を持つ。対面の会合になるので場所は役場 2 階大会議室を予定。趣旨は「これまでの答申概要の説明と、その内容についての意見交換」ということだ。

## 山沖会長

意見交換会では、まず財政状況についての我々の認識を示した上で、このような答申を作成したというように話を進め、それを受けて意見交換に移りたい。前回の委員会でも話をしたように、その準備として一つは答申の概要を作る必要があること、もう一つは財政状況の把握のために財政資料を用意する必要がある。財政資料については、宮嶋委員と村端委員に案を作ってもらっている。

そこで、我々の議論の裏付けとなるデータ・情報を共有する意味で、町に令和3年度の決算概況をまとめてもらっているので、その説明をお願いします。

## 寺島係長

まず、「広報いけだ」に載っている資料に沿って決算の概要を説明する。

<「広報いけだ11月号」2～5ページの記載資料に基づいて概要を説明>

次に、委員会資料に沿って決算状況を説明する。

<会議資料1～3ページの「決算一覧表」「町税の推移」「経常経費充当一般財源、経常収支比率」に基づいて説明>

## 山沖会長

私の方からいくつか質問したい。

令和3年度には年度途中で地方交付税の再算定があったが、令和2年度にもあったのか。

## 寺島係長

令和2年度には再算定はなかった。令和4年度もあるかもしれないが、まだ数字は出ていない。

## 山沖会長

普通交付税の増額になった分の1億円程度が、ちょうど財政調整基金の上積み分となっているように見えるが、そのような見方でよいか。

## 寺島係長

基金の積み増しの一部にはなっているが、令和3年度には公共施設等整備基金に4億2,200万円、減債基金に1億円ほど積んでいる。

予算段階では交付税を含めて歳入は厳しめに見ており抑えている。歳出の方は余裕を持ってというわけではないが、不測の事態にも備えられるような予算立てになっている。交付税は、令和3年度には再算定がないとしても令和2年度から2億円近い増加になっているので、再算定分が基金に積み上がった形になっている。

### **山沖会長**

地方交付税 2 億 8,634 万円のうち 1 億円は再算定分で、残りの 1 億 8,634 万円がもともとの増加分だという趣旨でよいか。

### **寺島係長**

その通りだ。

### **山沖会長**

再算定しているということは、所得税、法人税などが国としては伸びていることになる。しかし、一方で町の方は個人所得税も法人所得税も落ちているが。

### **辻委員**

1 年遅れのためだ。

### **山沖会長**

なるほど、去年の税収が落ちていたということか。

公共施設等整備基金として 7 億 7,658 万円と、かなりの額を積んでいるが、これはこの公共施設のためにという予定を念頭においた積み立てなのか。それとも、公共施設の整備・修理のために一般的に積んでいるのか。

### **寺島係長**

特にこれという区分けはしていない。公共施設の個別施設計画に沿った長寿命化のための修繕であるとか、ほ場整備に伴う非農用地の関係や会染小学校の大規模改修、会染保育園の関係などの財源として充てるために積み立てている。

### **山沖会長**

内容はそうなるのだろうが、どのくらいという見込みを立てて積み立てていないようだが、それでよいのか。

### **寺島係長**

本来なら、見込みを立てて積みたいところだが、決算が出たところで積めるだけ積むというやり方になっている。

### **辻委員**

経常経費充当一般財源では、令和元年度から令和 2 年度にかけて人件費が 1 億 7 千万円

くらい増えているが、これは他の費目が人件費に振り替わったということか。

### 寺島係長

令和2年度から制度設計が変わり、かつての臨時職員が会計年度任用職員となり、それに伴って物件費に計上されていた給料が人件費に組み込まれるようになったことによる。

### 辻委員

組み込まれる前の経費も経常経費充当一般財源に入っていたのか。振り替わったことによって経常収支比率が変わったわけではないと理解してよいか。

### 寺島係長

臨時職員でも経常的な一般財源を充当している。

### 山沖会長

令和4年度には職員がかなり辞めているので、来年度は人件費が大幅に減る可能性があると考えられるが、そのような理解でいいか。

### 寺島係長

おっしゃる通りだ。

### 山沖会長

では、次のステップに移り、宮嶋・村端委員に作ってもらった財政状況の資料の説明に移りたい。

### 村端委員

＜「資料：厳しき続く池田町の財政事情」に基づいて、作成の経緯と内容について説明＞  
内容に加えて、以下の補足説明があった。

- ① この資料は、議員の皆さん向けに作ったものであると同時に、議員の皆さんが町民の方々に説明して頂く際の資料としても使えるように、多少見栄え良く作った。
- ② 財政については、載せるべき資料が多数あるが、ここではいくつかの財政指標に限定して、ポイントを絞った説明にした。
- ③ 原案なので、委員からの意見を加えてよりよいものに仕上げていく。
- ④ 内容では、経常経費が平成27年度から令和3年度にかけて5億円も増加していることに見られるように、経常経費の増大が歳出を圧迫し財政硬直化が依然として続いている。これを解決し、早期に経常収支比率を80%以下に抑えることが最大の課題になっている。

## 宮嶋委員

表面の経常収支比率は、80%という国の基準が出ているので、平成27年度の池田町や現在の松川村のような状態に出来るだけ早くもっていきように財政運営をして頂きたい。令和3年度でみても、歳入の経常一般財源が37億円ある。1%違っても3,700万円だ。5%になると1億8,000万円になる。経常収支比率がいつも80%を超えるということは、言葉は悪いが経常経費の垂れ流しの財政になってしまう。こうした状態は1日でも早く解消しなければならない。しかし、今の行政サイドにこうした姿勢が見えない。

経常収支比率の計算は分数計算だから、分母が増えれば数値は当然下がる。しかも、分子はこの5年間右肩上がりだ。令和2年度から3年度にかけても2,300万円増えている。これを多少なりとも減額していかないと、いつまで経っても交付税頼み、他力本願でそこから抜け出せない。今後は、既に発表になっているように、1億7,000万円ほど普通交付税・臨財債の合計額が減る。経常経費が変わらないとしても、これだけで経常収支比率は87%になってしまう。

令和3年度の歳入の増加は一過性のものなのだが、80%に近づいたからいいではないかという理解は非常に危険だ。行革委員会では、経常経費を削減すべきだと言いつけてきたが、行政側でこれを肝に銘じてほしい。

裏面の実質公債費比率では、長野県の58町村のうちではワースト3位だが、町だけでいえば23町村のうちワースト1位だ。町のシミュレーションでも元利償還金が今後6億5,000万円になるという話だから、県下ワースト1位を目指しているという数字になってしまう。だから、ここ5年間くらいは臨財債以外には借金しない、事業も抑制するという徹底した財政運営をやらないとこの数字は落ちない。

職員の中で財政はひっ迫しているという意識が共有されているとは思えないのが残念だ。幸い財政係長も同席されているので、庁舎内でもこの考えをぜひ共有してほしい。

ここでは、池田町の広報とは異なる角度から分析しているが、広報でも池田町の実態を載せていく必要があるのではないか。

## 辻委員

普通交付税の令和3年度の数字は、先ほど財政係から説明された数字とは違うような気がする。また、4年度は当初予算の数字だが、国の補正予算も決まり税収も上振れしているので、去年ほどではないにしても交付税が増える可能性もあるのではないかな。

## 宮嶋委員

令和4年度については、既に7月に長野県から発表されたものだ。77市町村の一覧表が公表されている。

## 辻委員

令和3年度は決算前の数字か

#### **宮嶋委員**

いや、決算の数字だ。2億8,000万円増えた後の数字だ。

#### **辻委員**

特別交付税は入っていないということなのか。

#### **宮嶋委員**

特別交付税は経常収支比率に関係がないので、入れてはいけない。

#### **辻委員**

そうすると4年度は若干増える可能性は残っているのだろうか。

#### **宮嶋委員**

そうならばいいが、国の考え次第だ。おそらくないのではないかな。

#### **村端委員**

令和3年度については、総務省が「特別交付税及び特別会計に関する法律の一部を改正する法律」によって、国の補正予算による地方負担の増加のための財源を確保するという名目で再算定を行っている。これは令和3年度に限定した措置だ。令和4年度で税収が伸びれば再算定はないとはいえないが、現在予定されている数値で見ていく必要がある。

#### **山沖会長**

議会との意見交換会に出す資料としては、この形でよいと思うが、委員会として出す資料なので、先ほど宮嶋委員から話があったように、再算定の1億円増がなければ81.7%ではなく84~85%くらいになっているというような推計的な数字を入れるということも考えられる。また、実質公債費比率についても、先ほど話されていたことを盛り込むことは考えられないか。公債費が5.7億円から令和4年度には6.5億円になるのだから実質公債費比率も令和4年度には少なくともこれくらいにはなると見込まれるという説明も考えられ、令和3年度までの数字だけである必要はないように思う。例えば、令和4年度はシミュレーションで町の方でも示しているはずだ。

#### **村端委員**

最後の意見については、町がシミュレーションで示している。令和7年度あたりにピークが来るということも予測しているので、【図表5】の棒グラフをもう少し狭めて、右にシミ

ミュレーションの数字を加えることは可能だ。

### 山沖会長

数字は良くなっているようにみえるが実はそうでもないのだということを示すのであれば、我々の主張が分かるような資料にしたいと思う。特に、経常収支比率が 81%に落ちたというようにどうしても見えてしまう。令和 4 年度のシミュレーションで示されているものくらいは示してもいいのではないか。

また、実質公債費比率のワースト順位というのは分かりやすいし、そんなに悪いのかということがよく分かる。経常収支比率は松川村とだけ比べており、それも平成 27 年度から比べる必要があるかどうか。それよりも、この欄をなくして、第 1 位、第 2 位はどの町村、池田町はワースト何位、松川村は何位になるというのを入れることは出来ないのだろうか。

### 宮嶋委員

池田町の町民は、北安曇郡の他の町村の動向には結構敏感だ。だから、松川村の数字は削らない方がいい。

### 山沖会長

松川村の数字は入れるが、毎年のもを入れる必要があるかどうかという趣旨である。それより、順位が分かるようにした方がいいのではないか。

### 宮嶋委員

池田町の順位は、令和元年、2 年度はワースト 4 位だった。令和 3 年度は比率が 81 になったので確か下から 10 番目くらいではないか。

### 村端委員

12 番目だ。

### 山沖会長

それらが分かるようにした方がいいのではないか。

### 宮嶋委員

松川村は令和 2 年度で 42 位だ。そのくらいならこのスペースで入れられるだろう。

### 山沖会長

アピールするポイントをどこに置くかが大事だろう。

## 宮嶋委員

今回は議会の皆さんだから有識者だが、町民の方々には経常収支比率が81だといっても分かりづらい。それより長野県で一番悪いとか、長野県で下から4位だと言えば町民は分かる。飯島町のホームページでは、全ての指標でランキングはこうなっているということを示している。

今回は議会の皆さんだから、きちんと数字も示して理解して頂き、今後の財政運営のあり方を頭に置いて保育園なり非農用地なりを考えて頂くようにしたらよいと思う。

## 山沖会長

基金残高についてだが、文章中には入っている「池田町の順位がまだ悪い」ということを、グラフの中で吹き出しにして入れるようにしたらどうか。

## 村端委員

グラフをもう少し小さくして吹き出しをつけることは可能だ。

## 山沖会長

文章をどれだけ読んでくれるかということもあるので、せつかくなら、順位の悪さも強調したらどうだろうか。

## 辻委員

「財政危機対応期間中は新規起債を抑制・停止を」となっているが、補助事業であれば起債の充当率があるわけなので、ここで言っているのはもう事業はやるなということなのか、それとも事業はやるとしても起債はするなということなのか。

## 村端委員

会染保育園であれば、今までは町の2案があり、統合では4億円、建て替えでは6億円というようになりかなりの高額の設定になっていた。これは町の財源でやらなければならないわけなので、それを念頭に置いて委員会としては第3の案を提案した。これは新規起債の抑制につながる方法になっているわけだ。一方、非農用地や社口原はこれからの問題だ。どうするのかがまだ決まらない段階なので、出来るだけ起債を抑えてやる方法を考えないといけないという趣旨になる。方針が決まっている事業について委員会が起債を抑えるやり方を提示しているのは会染保育園だけだ。

## 山沖会長

本文では「原則として」と書いてある。本来は「停止」を打ち出す必要はないかもしれないが、強いメッセージとして出すことが必要であり、厳密な言葉使いではないと理解してい

る。「抑制・停止」と言っても、実際には抑制になるのではないか。

#### **辻委員**

キャッチフレーズ的ということか。それなら理解できる。

#### **村端委員**

小見出しで、「財政危機対応期間中は」と限定的にしているところも一つのポイントだ。

#### **山沖会長**

町の方では、何か意見はないか。

#### **塩原係長**

特段意見はない。

#### **山沖会長**

基本をこの形にして、意見交換の際にこの資料を使って、我々は財政状況をこのように認識して答申を作っていると説明することにしたい。

必要な手直しをした上で、皆さんに最終的にメールで確認頂いて当日の資料とする。

#### **和澤委員**

以前の委員会での資料には、経常経費と比べて投資的経費が極端に少なくなるという予測の表があった。通常は80：20が好ましいが、現在の町の状況は社会資本整備事業も終わったので余りやることなく投資的経費が少なくなっているという説明があった。しかし、今後の公共施設などの問題もあるので、その資料を出してもいいのではないかと思うのだが、載せない特別な理由があるのか。

#### **村端委員**

特別な理由というより紙面の関係が一番だ。今回はポイントを絞ってこのような形にした。今指摘されたような資料もあればよいが、これは昨年末に作った詳細な資料もあるので、それも合わせて参考にして理解を深めてもらえばよいと考えた。

今日の町の資料を見ても令和3年度の投資的経費は極端に少なく、今後もこのような状態が続くとすれば経常的経費が歳出の95%を占め、投資的経費はわずか5%ということも当然予想される。この点は、先ほどの資料を利用して議会でも議論して頂ければありがたい。

#### **山沖会長**

平成29年度、30年度、令和元年度と投資的経費が多かったため、その反動で少なくなっ

ているというのが現状だろうと思われる。

それでは、財政に関する背景説明にはこの資料を使うことで了解を頂き、次の議論に移る。

議会では答申の概要説明をという要望があったので、第一次答申から第五次答申までの全項目を一覧にしたものを用意している。第一次から第三次までは町の回答が入っている。

項目についてこれでよいかどうか、ロードマップの右側の部分についてもどうするか、皆さんの意見を伺いたい。

### **宮嶋委員**

今回の議員との話し合いなので、空欄部分は要らないのではないかと。むしろ一次から三次の行政側からの考え方と具体的な取り組みを6月10日に別紙で受け取っているもので、これに第四次から第五次の項目を加えたものにすればよい。行政側の考え方と取り組み部分は空欄でも仕方がないのではないかと。

### **山沖会長**

私もその方がよいと思う。一次から三次までは町長から受け取ったものをそのまま出してもよいかもしれない。

<この後、どのような形式にするかで若干のやり取り続く。画面共有で様式を確認>

では、以上の二つ（財政資料と答申項目一覧）で議会との意見交換に臨むということにしたい。

なお、ロードマップの右側の部分（令和8年度までの実施計画）は12月までに町に作って頂き、1月に意見交換をすることにしたい。

### **丸山副会長**

実施済みのところは、一覧で斜線をつけると分かるようにしてほしい。町では実施しないという項目も記号で分かるようにできないか。

### **山沖会長**

それは、一番右に○×をつけて示している。完全に出来なければ△でもよい。これでよいか。

### **丸山副会長**

それでよいと思う。

### **山沖会長**

ここで、一旦休憩をとりたい。

## <休憩>

### 山沖会長

次に増収策の話になるのだが、その前に、交流センター横の未利用地である「商業エリア」に関する資料が村端委員から出されている。町有地の活用については第四次答申に盛り込まれており、現状がどうなっているのかはその検証課題でもあるわけで、現状がどうなっているのかを説明して頂くことにする。議会と意見交換する際や町長と1月に話し合う際の情報共有と考える。

### 村端委員

この「商業エリア」は、町の増収策という点でも町なかの活性化という点でも、この土地の利用法を考えるべきだという観点が必要だ。その意味で、これまでの経過をしっかりと踏まえておかないと道を誤る恐れがあると考え、この資料を作っている。

<資料に基づいて、「商業エリア」造成の経緯、この土地利用についての6月議会での町長発言とその問題点、利用法のいくつかの考え方について説明>

私自身は、社会資本総合整備計画策定のために町民団体の一員として関わった関係から、これをまとめており、この土地を設けた経過を委員の皆さんにもご理解いただきたいと考えた。

最後の、土地の活用方法については、町長方針がなければこのようなことも考えられるという意味でつけてあるので、あくまで参考としてほしい。

### 山沖会長

先ほども申し上げたように、これは第四次答申に盛り込んでおり、どのようにこの土地を利用するかは議会でも話し合う必要があるし、増収策としても利用できる可能性があると思われる。

### 宮嶋委員

当時、立場は違うが策定の場にいたのだが、経過は今の話の通りだと思う。

計画段階で、町は商業エリアをつくらなければならないと方向転換をし、社総交からこの土地を外し国の補助金を入れずに商業活性化の展望を持って町で購入した。

ここに来て、9月議会で町長から「商業用地として利用を公募する」という方針が表明されたのだが、行政として公募に向けてどのような状況になっているのか聞きたい。

### 宮澤総務課長

担当課では対応を考えて公募するという話はしていたが、具体的なスケジュールは私の方に話はまだない。

### 宮嶋委員

担当課で公募の日程も決まるということになれば、増収策を検討する際に、この土地を有効利用するという委員会の議論に影響する。善し悪しは別として、このエリアについては除外して他の増収策を検討するということにもなる。

### 山沖会長

商業用地として公募するというのは、町有地として維持したまま貸し出すということなのか、それとも売却するという趣旨なのか。

### 宮嶋委員

上原商店跡地のような賃貸という方法もあるし、売却も含めての公募ではないかと個人的には理解しているが。

### 山沖会長

この土地は、現在、普通財産になっているのか。

### 宮嶋委員

当然そうだろう。公共用地になっているので行政財産ではない。

### 山沖会長

売却ということもあるということによろしいか。今後、増収策を考えていく際に、この土地を売却または賃貸で収入を得るということもありうるという点を頭に置いておきたい。

では、続いてふるさと納税の活用について議論したい。

池田町の第6次総合計画では自主財源の確保策として①ふるさと納税での増収、②未利用地の活用・処分、③使用料・手数料の見直し、④町税の収納対策の4つが挙げられている。③使用料・手数料については第4次答申で扱っているし、④町税の収納率もかなり上がってきている。また、②未利用地の活用については第四次答申で触れているので、あとはふるさと納税の問題ということになる。

町で資料を用意してもらっているので、まずその説明を聞きたい。

### 塩原係長

<一括資料4ページ～9ページに基づいて説明>

補足説明：

- ① 総務部会で、5ページの「経費」の内訳を知りたいという宮嶋委員から質問について。  
R3の経費は5,251万3千円だが、消耗品代が9万円ほどあるだけで、ほとんどが委託

会社（さとふる、結デザイン）への委託料とシステム利用料だ。

委託料の中身については、返礼品の額も含まれている。返礼品の額は寄付金額の3割未満と決まっているので、3,400万円くらいが返礼品で、それ以外が委託業者に入っている。

- ② 総務部会で宮嶋委員から指摘のあった、5ページのR3寄付金額113,585円と、6ページ107,792円とでは金額が合わないという点について。

5ページは収入ベース、6ページは申し込みベースで記載していることによる違いだ。申し込みでは令和3年度に申し込んだが収入は令和4年度ということも起こりうる。

### 山沖会長

池田町はふるさと納税が増えているという状況にある。増収策の一環として、ふるさと納税を増やすことには大きな意味があるが、いくつかの課題や改善点をどうするのかも含めて、皆さんから何か質問はあるか。

### 宮嶋委員

池田町から逆に他市町村にどのくらいのふるさと納税があるのかを調べてほしいという依頼をしていたが。

### 塩原係長

まだ調べていない。申し訳ない。

### 宮嶋委員

コロナの影響もあったのだろうが、個人住民税が2千万円ほど減っているので心配だ。調べておいてほしい。

### 山沖会長

二つの市町村の組み合わせで、たとえば松川村と池田町とで半分半分の返礼品が出るということはできないのか。

### 塩原係長

それぞれの市町村への納税額に応じて、例えば池田町に1万円分、松川村に1万円分とすることはできる。

### 山沖会長

そうではなく、返礼品のセット販売みたいなやり方だ。

### **辻委員**

これは販売ではなく、お礼の品を出すということなので、今の話のようなことは難しいと思う。

### **山沖会長**

先日、一つの町村にふるさと納税を行った際、返礼品は近くの町村の商品がセットになっているものがあった。

### **塩原係長**

そのような仕組みはある。池田町では農協の米を出しているが、池田町で生産した米に他市町村からの米がブレンドされている。それも池田町産が入っているということで池田町の返礼品としては使える。同様にして、同じ大北産の米を松川村でも大町でも売れるという仕組みはある。

### **山沖会長**

池田町のワインと他の町村のワインを組み合わせで池田町の返礼品とすることもできるはずではないか。池田町のワインさえ入っていれば。

### **辻委員**

それは駄目なのではないか。

### **山沖会長**

実際に、ある町の讃岐うどんと別の町の讃岐うどんをセットにしたものが一つの町の返礼品になっていた例がある。

### **塩原係長**

そのようなことができる例はある。例えば、ハーブを売るといったときに池田町産のハーブに海外のハーブをセットにすることも可能だが、割合は分からないがある程度の制限はある。

### **山沖会長**

6 ページの表には食料品は出ているが、ハーブは含まれているのか。

### **塩原係長**

美容製品の中に、カミツレのハーブ製品が入っている。

### **宮嶋委員**

ふるさと納税が7千万円から1億1千万円と4千万円も増えたわけだから、これは町にとって非常に明るい話題だ。しかもその中でワインが最も多く5千万円にもなっている。町民の皆さんはほとんど知らないことだから、是非広報に載せてもらいたい。横山ワイナリーも金賞を取ったし、これはちょっと飲んで見たいなということになり、相乗効果が期待できる。ハーブもいいが、東山エリアのワインの里は一つの大きな売りになっているので、ぜひアピールして頂きたい。

### **山沖会長**

リンゴのオーナー制度というのがあるが、これはふるさと納税の対象になるのか。東京のいる人が1本の木のオーナーになって採れたものがもらえるという制度であり、リンゴ以外でも構わない。

### **塩原係長**

ブドウや他の果樹も含めて池田町内の農業者がそのようなことをするのは可能だろうと思う。ただ、受け入れる側で準備が必要になるだろう。

### **山沖会長**

池田町ではオーナー制度を取っているところはないのか。

### **和澤委員**

池田町はリンゴもブドウもない。リンゴは生産者が1、2軒しかない。松川村のように生産者が多いところはできるが、池田町は業者も少なく、それどころではないという感じではないか。これから生産者が増えれば考えられるかもしれないが。

### **山沖会長**

展望美術館の入場券というのもあり得るだろう。

### **塩原係長**

それはあり得る。

### **山沖会長**

展望美術館応援プロジェクトで売り出すことはできないのか。商品券などは駄目なのか。

### **辻委員**

金券的なものは駄目だが、入場券なら大丈夫だ。ただ、それがもらえるから納税しようと

いう人は多分いないのではないか。

### **塩原係長**

クーポン券のようなものになると、池田町に来て使ってもらわないといけない。そこがネックになる。

### **村端委員**

今後ふるさと納税をどう増やすかということについては、二つ方向がある。一つは、ポータルサイトや委託業者をどう充実させるかという点、二つは返礼品の開発をどう進め、魅力あるものにするのかという点。

第1の点では、委託業者もサイトもこれ以上は増やさないということなので、当面データも取りながら充実の仕方を考えるべきだろう。

第2の点では、役場だけで考えてもよい知恵が出ない場合もあるので、広く皆さんから意見を聞くことも必要ではないか。例えば、近くのブドウ農家の方に聞いた話では、新品種のクイーンルージュが来年あたりから出荷できそうだという話があった。こうした新品種も積極的に売り出していけば、ブドウは返礼品としての魅力が大きいので、まだまだ伸びる可能性があるのではないか。

### **山沖会長**

クイーンルージュは本当に美味しい。他のブドウが食べられなくなる。大きなデパートなどでは扱っているらしいが、今年は長野県内での販売が基本になっている。

### **塩原係長**

もう一つ、特徴的な商品としてイチゴがある。果物にはシャインマスカットなども若干入っているが、主要な果物はイチゴだ。加工用のイチゴを作っている業者がいて、冷凍イチゴを低価格帯で出している。単価は低いのだが年間を通して数がでていたので全体の収入を底上げしている。

### **山沖会長**

日本酒はどうか。池田町では大雪渓があるが、一社だけだと限界ということなのか。

### **塩原係長**

他に福源酒造があるが、大雪渓の方がよく知られているということはあるかもしれない。ただ、大雪渓は仕事が忙しく手が回らないという話を聞いたので、伸び代はまだあるのではないか。

### **山沖会長**

宿泊券は、確かオーベルジュがあると聞いたが、他にもあるのか。

### **塩原係長**

小さな民宿だが「山想」も入っている。

### **丸山副会長**

池田町にはパン屋さんとかケーキ屋さんがあるが、そのような食品は日持ちの関係でリストに上がらないのか。クッキーなどのお菓子の詰め合わせなら多少日持ちはいいと思うが。

### **塩原係長**

パンを出しているところはない。

### **丸山副会長**

こぢんまりした店が多いので需要には応えられないかもしれない。

### **塩原係長**

発送業務が生まれるので、それがハードルになるようだ。

### **山崎委員**

ステンレスボトルが返礼品として出ているが、金額や製造先とかをもう少し詳しく知りたい。

### **塩原係長**

(有)丸山工機がプロジェクトを作り、そこで開発したものだそうだ。ナルゲンボトル対応の保温ジャーというか、ステンレス製の真空断熱容器だ。

### **山崎委員**

何らかのブランド化というか、山用に特化しているのか。

### **塩原係長**

ナルゲンボトル自体は山に行く人がよく使うが、日常で使う人もいれば、最近ではキャンプで使うという人もいる。山に持っていくとなると、ステンレスボトルはその分重くなるので難しいだろうが、キャンプなどのアウトドアブームの中で伸びていくのではないか。

### 山崎委員

金額はどうか。

### 塩原係長

資料がないので分からないが。

### 山崎委員

1人当たりの金額はどうか。どのあたりの寄付額の層が多いのか。10万円から50万円の層が多いとか。

### 塩原係長

平均は1万6,774円だから、2、3万円くらいになるのではないか。

### 山崎委員

池田ブランドを開発するにしても、どのくらいを想定するのかの資料にもなる。

### 山沖会長

ナルゲンボトルは5万円だそうだ。その3割なら1万5千円だ。

他に意見がないようなら、今日はここまでにして、次回に議会と話し合いをした後、増収策について議論したいと思う。時間があれば、最終答申に向けての話をすればよいのではないか。

塩原さんの方で、ロードマップの表を12月中に作成してもらうように手配してほしい。

## 5. 今後のスケジュール

<今後の日程をめぐって日程調整の話し合いに多少時間がかかったが、1月にはロードマップと財政シミュレーションについて町長から説明を聞く必要があることと、その後は最終答申に向けた議論を進めるため、次のように日程を決めた>

- ・ 1月12日（木）ロードマップなどの事前勉強を行う
- ・ 1月19日（木）町長からロードマップについての説明を受け、意見交換を行う
- ・ 19日に出されるロードマップ、財政シミュレーションを見た上で、最終答申の議論に入る。従って、最終答申は2月下旬あたりに予定する。
- ・ 12月については、11月24日の会議を踏まえて減らすことも考える。
- ・ 2月は、2月2日（木）、2月22日（水）を予定。なお、2月22日にするかどうかは町長の予定を確認した上で、必要に応じて改めて調整。

## 6. 閉会（丸山副会長）